

遺物種類	経塚1出土遺物	番号	通番	写真 
名称	青銅製経筒	1-1	1	
口径(cm)	14.6(蓋) 底径(cm)	(13.3)		
器高(cm)	—	遺存率(%)	20	
出土遺構	集石1(経塚1)			
報告書番号	第127集	挿図番号	第28図-1 第29図	
品質形状	青銅製経筒。2枚の銅板を半筒形に丸めて鋳留めた大型のもので、腐食、破損しており、蓋と一部の胴部と底部が残る。外面に渡金の痕跡が残ることから、本来は全体に渡金されていたものと考えられる。円形の底部は一部が残存する。蓋は被蓋形式で、銅板を叩き延ばして整形したもので、端部を折り曲げ1cmほどの扁平な縁を作り出し、端部下に身と重ね合わせるための8mmの下がり部を作る。擬宝珠鈕には四葉座が伴う。蓋・胴部と底部、底板にわかる。			
収蔵場所	北九州市立自然史・歴史博物館			
撮影時期				
修理履歴	期間	施工者		備考
貸出履歴	期間	貸出先		備考

遺物種類	経塚1出土遺物		番号	通番	写真
名称	湖州六花鏡		1-2	2	
現存長(cm)	(10.14)	最大幅(cm)	(6.2)		
最大厚(cm)	3.0	遺存率(%)	50		
出土遺構	集石1(経塚1)				
報告書番号	第127集	挿図番号	第28図-3 第30図		
品質形状	湖州六花鏡。銘文は明確には読み取れないが、一部に2×3cmの長方形の囲みがある。破損端部付近が3cm程くぼむ。鈕は1.0×0.4cmの長方形				
収蔵場所	北九州市立自然史・歴史博物館				
	撮影時期				
修理履歴	期間	施工者		備考	
貸出履歴	期間	貸出先		備考	

遺物種類	経塚1出土遺物		番号	通番	写真
名称	棒状鍛造鉄器		1-3	3	
現存長(cm)	(6.0)	最大幅(cm)	-		
最大厚(cm)	-	遺存率(%)	-		
出土遺構	集石1(経塚1)				
報告書番号	第127集	挿図番号	第28図-5 第33図		
品質形状	棒状鍛造鉄器。断面長方形を呈する。鉄鏃の茎か。2片接合。				
収蔵場所	北九州市立自然史・歴史博物館				
	撮影時期		2018年6月6日		
修理履歴	期間	施工者		備考	
貸出履歴	期間	貸出先		備考	

遺物種類	経塚1出土遺物		番号	通番	写真
名称	青磁小形壺		1-4	4	
口径(cm)	2.6	底径(cm)	2.8		
器高(cm)	4.0	遺存率(%)	90		
出土遺構	集石1(経塚1)				
報告書番号	第127集	挿図番号	第28図-4 第32図		
品質形状	青磁小形壺。口縁部と肩部が一部欠。外面黄灰色釉。底部外面露体、一部に砂附着。6片接合。				
収蔵場所	北九州市立自然史・歴史博物館				
	撮影時期				
修理履歴	期間	施工者		備考	
貸出履歴	期間	貸出先		備考	



遺物種類	経塚1出土遺物		番号	通番	写真
名称	台座石		1-5	5	
最大長(cm)	23.5	最大幅(cm)	20.0		
最大厚(cm)	3.2	遺存率(%)	80		
出土遺構	集石1(経塚1)				
報告書番号	第127集	挿図番号	第28図-1 第31図		
品質形状	砂岩製の平石。経塚1出土経筒の台座石として使用。台座として使用された面の剥離が激しい。14片接合。				
収蔵場所	北九州市立自然史・歴史博物館				
	撮影時期				
修理履歴	期間	施工者		備考	
貸出履歴	期間	貸出先		備考	



遺物種類	経塚2出土遺物		番号	番号	通番	通番	写真
名称	青銅製経筒		2-1		6		
口径(cm)	7.2(筒) 12.0(蓋)	底径(cm)			11.7		
器高(cm)	23.7	遺存率(%)			98		
出土遺構	集石3(経塚2)						
報告書番号	第127集	挿図番号	第41図-10 第42図-10				
品質形状	<p>青銅製経筒。胴部は竹を模し、7.3cm間隔で上・中・下の三段に突線紐帯が鑄出されている。上下段は突線紐帯が2条、中段は3条である。胴部外面には数箇所の不規則な傷がみられ、CTスキャンにより鑄掛による修復痕が確認できる。笠蓋は被蓋形式。やや扁平な形状をしており、緩い甲盛をもつ。底板は秋草が鑄込まれた中央に鈕のある和鏡で、はめ底。内部には塊状に団結した紙片が多数残る。鎮国寺型。</p>						
収蔵場所	北九州市立自然史・歴史博物館						
修理履歴	期間	施工者		備考			
貸出履歴	期間	貸出先		備考			
	平成30年4月12日から 平成30年7月2日まで	北九州市立小倉城庭園		開館20周年記念 北九州市立小倉城庭園企画展 小倉鑄物師と芦屋鑄物師			


遺物種類	経塚2出土遺物		番号	番号	通番	通番	写真
名称	経筒外容器		2-2		7		
最大径(cm)	26.7(蓋) 26.2(胴部)	底径(cm)	25.0				
器高(cm)	27.4	遺存率(%)	100				
出土遺構	集石3(経塚2)						
報告書番号	第127集	挿図番号	第41図-11 第42図-11				
品質形状	<p>経筒専用外容器。土師質の円筒で、身の浅い皿状の蓋と対をなす。蓋上面には糸切りの痕跡が残る。身、蓋ともにしっかりした作りで、胎土は砂粒が少なく精良。焼成良好。身の側面には焼成後に外面からの穿孔あり。孔はやや不定形で径3cm程を計る。</p>						
収蔵場所	北九州市立自然史・歴史博物館						
修理履歴	期間	施工者		備考			
貸出履歴	期間	貸出先		備考			

遺物種類	経塚2出土遺物		番号	2-3	通番	8	写真	
名称	紙本経片							
口径(cm)	—	底径(cm)	—					
器高(cm)	—	遺存率(%)	—					
出土遺構	集石3(経塚2)							
報告書番号	第127集	挿図番号	第41図-7	第42図-7				
品質形状	経塚2出土経筒内に残る紙片。塊状に団結しており判読不能。紙本経の経巻か。							
収蔵場所	北九州市立自然史・歴史博物館						撮影時期	2018/6/6
修理履歴	期間	施工者		備考				
貸出履歴	期間	貸出先		備考				

遺物種類	経塚2出土遺物		番号	番号	通番	通番	写真	
名称	鉄小刀		2-4		9			
現存長(cm)	(25.1) (刃部22.0)	最大幅(cm)	3.1					
最大厚(cm)	0.6	遺存率(%)	90					
出土遺構	集石3(経塚2)							
報告書番号	第127集	挿図番号	第41図-7 第42図-7					
品質形状	鉄小刀。切先部一部欠損。一部に鞘の木質が残る。関部は棟部分に明確な段を有す。2片接合。							
収蔵場所	北九州市立自然史・歴史博物館							撮影時期
修理履歴	期間	施工者		備考				
貸出履歴	期間	貸出先		備考				

遺物種類	経塚2出土遺物		番号	通番	写真
名称	青銅製刀装具		2-5	10	
最大長(cm)	(2.9)	最大幅(cm)	0.8		
最大厚(cm)	0.3	遺存率(%)	-		
出土遺構	集石3(経塚2)				
報告書番号	第127集	挿図番号	第41図-5 第42図-5		
品質形状	青銅製刀装具。鉄小刀に付属する鍔(はばき)か。片面に鋸留め状の装飾痕残る。				
収蔵場所	北九州市立自然史・歴史博物館				
			撮影時期	2018/6/6	
修理履歴	期間	施工者		備考	
貸出履歴	期間	貸出先		備考	



遺物種類	経塚2出土遺物		番号	通番	写真 
名称	鉄鏃		2-6	11	
現存長(cm)	(6.0)	最大幅(cm)	3.2		
最大厚(cm)	-	遺存率(%)	70		
出土遺構	集石3(経塚2)				
報告書番号	第127集	挿図番号	第41図-8 第42図-8		
品質形状	鉄鏃。茎部根元より欠損。平根式。				
收藏場所	北九州市立自然史・歴史博物館				
	撮影時期				
修理履歴	期間	施工者		備考	
貸出履歴	期間	貸出先		備考	

遺物種類	経塚2出土遺物		番号	番号	通番	通番	写真		
名称	青白磁合子		2-7		12				
最大径(cm)	(6.2)	底径(cm)	(4.5)						
器高(cm)	3.6	遺存率(%)	30						
出土遺構	集石3(経塚2)								
報告書番号	第127集	挿図番号	第41図-9 第42図-9						
品質形状	青白磁合子。平型の印籠型。釉色は青白色で、蓋上面に銭繫ぎ文を型押しする例は稀少である。保存状況もよく優品。景德鎮窯。蓋1片を復元、身3片接合後復元。								
収蔵場所	北九州市立自然史・歴史博物館					撮影時期			2018/6/6
修理履歴	期間	施工者		備考					
貸出履歴	期間	貸出先		備考					

遺物種類	経塚2出土遺物		番号	2-8	通番	13	写真	
名称	ガラス製小玉							
長さ(cm)	-	推定外径 (cm)	0.6					
推定孔径 (cm)	0.2~0.3	遺存率(%)	-					
出土遺構	集石3(経塚2)							
報告書番号	第127集	挿図番号	第43図	第44図				
品質形状	出土数は約40点(報告34点)。保存状態が悪く、1点をのぞき灰白色に変色している。							
収蔵場所	北九州市立自然史・歴史博物館							
	撮影時期							
修理履歴	期間	施工者		備考				
	平成25年9月2日から 平成26年3月14日まで	公益財団法人 元興寺文化財研究所		樹脂含侵および樹脂塗布による保存処理				
貸出履歴	期間	貸出先		備考				